# 型紙サービス



1班 杉野 坂本 武井 安部







USP









STP分析



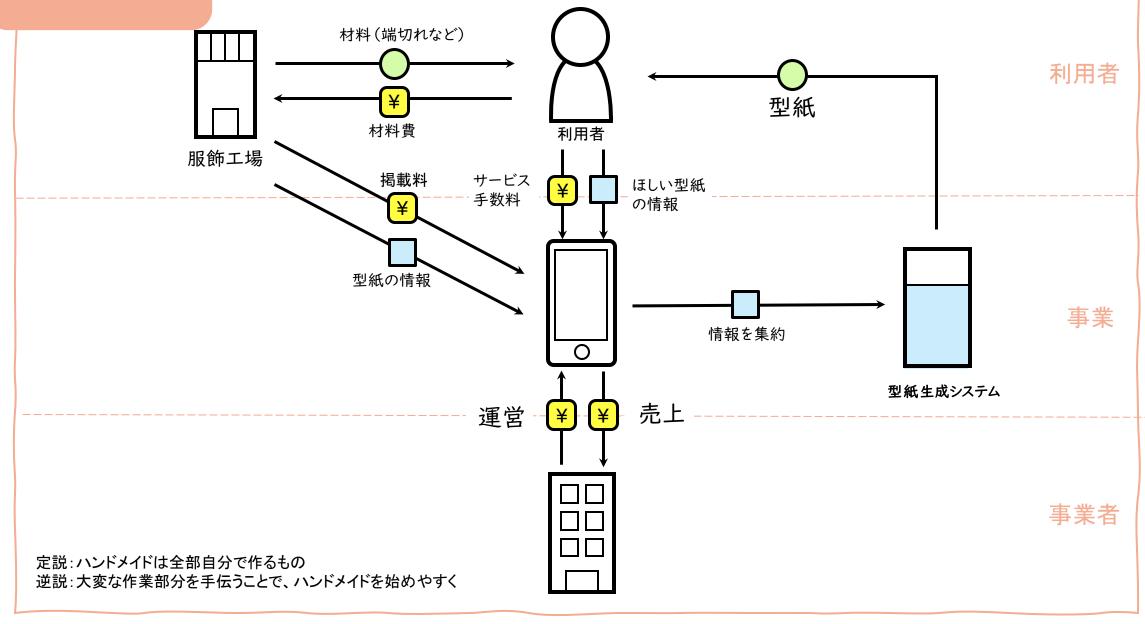
子供に服を作ってあげたい 初めて服作りに挑戦したい

サイズがピッタリな型紙を作れて、 注文は全てスマホーつで簡単にできる

型紙サービスという

ハンドメイドの最初の一歩を手助けする新ビジネス

#### ビジネスモデル図解



# 3C分析

## 顧客

服作り初心者 興味がある人

## 競合

型紙本・型紙サイト 代行サービス 教室・ワークショップ メルカリ

## 自社

SWOT分析へ

#### **SWOT**

## Strength

- ・気軽さ、手軽さ
- ・無駄がない、ピッタリ
- ・作成時間の短縮

#### Weakness

- ・知名度のなさ
- ・技術が未熟
- ・市場規模の狭さ

## **Opportunity**

- ・保育園児、幼稚園児の布製品の手作り文化
- ・子供への愛情表現
- ・コスプレ文化(一般化?)
- ・ライブ文化
- ・手作りに特化したサービスがない

#### **Threat**

- ・メルカリの台頭
- ・ブーム衰退の可能性
- ・(日本)人口減少→該当する子供の数の減少

# STP分析

## Segment

服作り初心者 興味ある人



#### Target

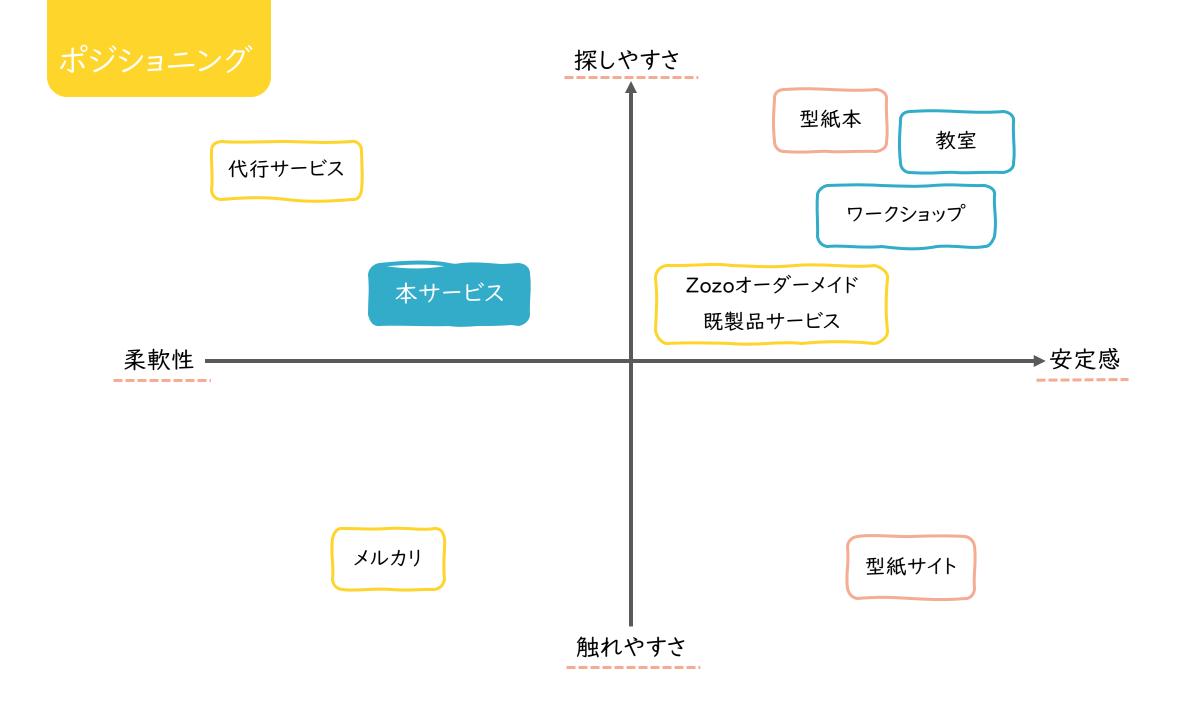
20~30代 子供の親世代 趣味に注ぎ込む世代



#### Position

ポジショニングマップへ





**USP** 

1 自分にピッタリの型紙ができる

スマホ1つで始められる



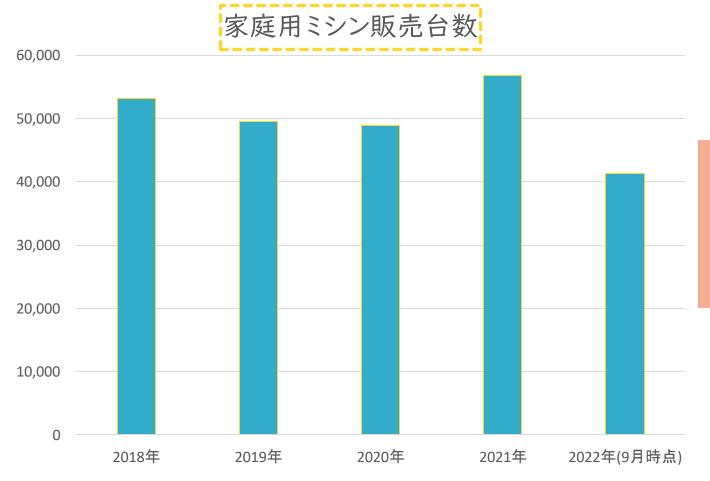
# 対象

ハンドメイド初心者 初心者=型紙を書けない・書く気力がない人

#### <具体例>

- ・保育園、幼稚園児の親(服飾備品が必要):買いに行く時間はない/作る時間がある・必要性 手作りを与えたい
- ・コスプレ:手作りしたい派
- ・ライブ:観客
- ・単純にハンドメイドに興味ある人

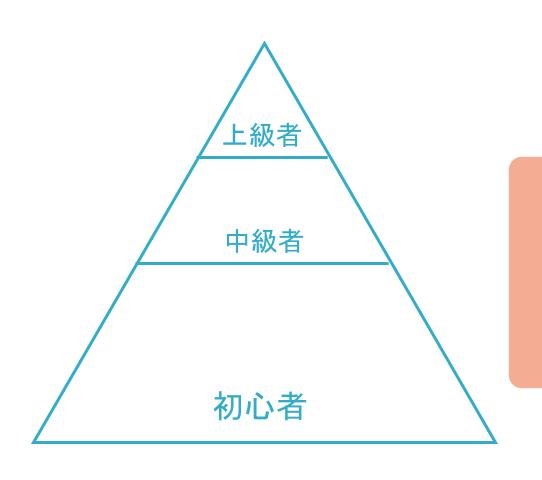
#### フェルミ推定



平均して 約52000台/年 売れると仮定

※経済産業省生産動態統計調查 / 経済産業省生産動態統計 / 年報 機械統計編 2020年 年報

\_\_/~\_\_/~\_/\_\_\_\_



初心者=全体の6割と仮定

= 520000\*60/100

=31200台/年

#### 損益計算

一人当たりの利用金額 750×2=1,500

X

利用回数予想 31,200×1/5=6340(世帯) 6340×2=12,480(回) 売上高予想

= 18,720,000

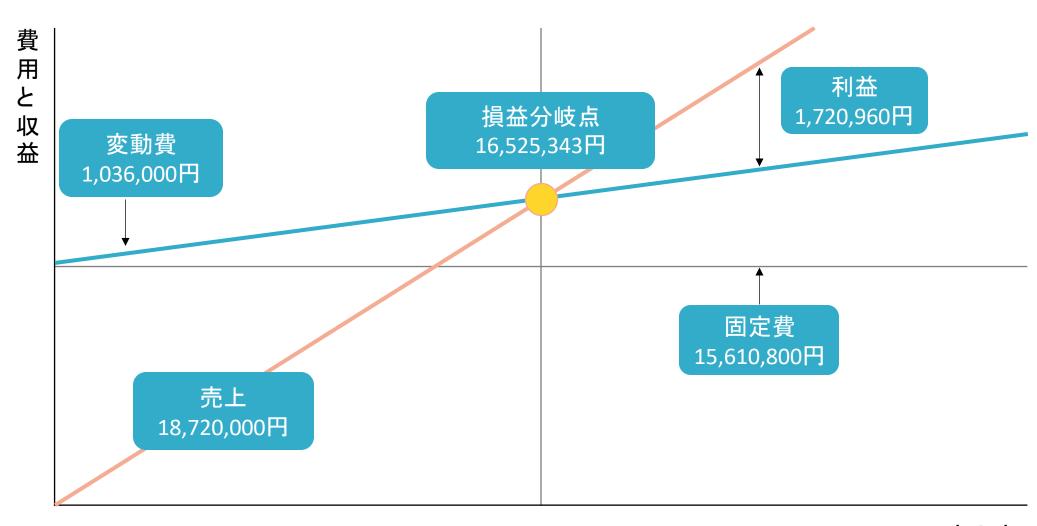
売上高から純利益を出す。

売上高-模造紙=粗利 18,720,000-352,240=18,367,760 粗利-(固定費+変動費)=純利益

18,367,760 - (15,610,800 + 1,036,000) = 1,720,960

純利益÷売上高=利益率 1,720,960÷18,720,000=0.091931624

#### 損益分岐点



売上高

## **Product**

- ・オーダーメイド型紙ネットサービス
- ・布の販売

#### **Price**

- ・1つの型紙あたり 750円前後
- ・型紙の種類によって変動予定

#### **Place**

- ・スマホアプリで情報送信
- ・データの販売→利用者がプリントアウト

#### **Promotion**

- ・服作りに関わるコミュニティ内での口コミ
- ・子供関係のコミュニティへのアプローチ (幼稚園・保育園・小学校に宣伝、春に注力)
- ・フリーマーケットイベントへの参加
- ・SNSのインフルエンサーとのコラボ

(tiktok:自動で関連動画流れてくる、instagram: ハンドメイド作家、ハロウィンの時期に流れてくる)

# 最終発表までのスケジュール

- 事業計画書作成
- システムを稼働させることが可能か詳細を練る
- サービス利用者にヒアリング

#### エクセルのURL

https://kanagawau-my.sharepoint.com/:x:/g/personal/r202102142ll\_jindai\_jp/EfTJSkDAuvlIr3THVP3Wu-YBzLYJafhhBJw4MjbX-7e4GA?e=JGupYy